



京都の森を元気にしよう！



日本は、世界のなかでも森が豊かな国です。その中でも、京都は、土地の面積の約4分の3を森林が占めています。

森は、木材を生産するだけでなく、地球温暖化の防止など、人間が地球で生きていくのに欠かせない役割を果たしてくれています。

むかしは、日本でも、薪を燃料につかったり、木材で家を建てたりと、森の恵みを今よりも身近に生かしたくらしをしていました。それが、ここ数十年ですっかりかわり、人のくらしの中で森とかわることが減ってしまいました。

人の手が入らなくなった森は、暗くなり、木や土がやせてしまって元気がなくなったりします。京都モデルフォレスト協会では、人のくらしにとって大切な森を、いろいろな立場の皆でどう守っていくか話し合い、力をあわせ守っていく取り組みをすすめています。



こうした「モデルフォレスト」の取り組みをしている仲間は、世界中にいます。今では30か国以上、約60の場所で、「みんなで森を守り育てる取り組み」が行われています。

場所は違っても、森が人のくらしにとって大切なことには違いがありません。皆さんも、ぜひその仲間として、森に親しんでみませんか。